

ちいき新聞

2018年11月9日号

柏南版

発行部数35,890部

VOL.687 全57版

総発行部数2,121,312部

今週の目どころ

- ☆空まつり2018
- ☆紅葉スポット2018
- ☆「私のちいき愛」を語る 林家たい平さん

地元の求人がいっぱい

Happiness 隔週折込

中の折込を今すぐチェック

一部地域は折込されておりません。
(株)地域新聞社 ちいふる事業部 ☎04-7162-3456

ちいき新聞に関するご意見・ご要望は ☎0120-152-337 広告掲載・チラシ折込等については ☎047-458-6802 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み kashiwa-minami@chiikinews.co.jp



黒田さんの自宅にある真空管のステレオと趣味で集めたレコード

クロダマハウス

懐かしい音楽で心が若返る

レコードを通して高齢者に音楽の力を届ける「ボランティア「クロダマハウス」。主宰する黒田さん自身の経験から始めたこの活動は、高齢者にとって心とむ、楽しみな時間となっている。

見直される

レコードの魅力

岸洋子「夜明けの歌」水原弘「黒い花びら」リクエストに応えて昭和の歌謡曲が次々と流れる。レコードから流れる響きは、デジタルとは異なる柔らかさで広がり、懐かしいの歌声がなんとともに優しく、低音部の響きも心地よい。

クロダマハウス代表、黒田さんは、オーディオ機器とレコードを高齢者福祉施設に持ち込み、ボランティアでレコード音楽を通して高齢者に元気を届ける活動をしている。

「父親が脳梗塞によるまひで話すこともできなくなつた時の事なんです」。音楽が趣味の黒田さんは活動のきっかけを話してくれました。「父に、昔から大好きだった石原裕次郎の『銀座の恋の物語』を聴かせてみたんです」。

驚くことに、それまで無反応だった父親が音楽に乗せて声を合わせたのだという。認知症の人が若き日の思い出の歌を大きな声で歌い、楽しそうに手拍子を打つ。懐かしの音楽鑑賞には回想法の一つとして認知機能の改善も期待できると認められている。音楽を聴くだけでなく、レコ



音楽のリズムに合わせて若返り体験

障がい者就労支援のために

ードジャケットを見て、触れて、その重み、匂いを感じれば、心も体も刺激を受ける。レコードを持ち込まなければならぬし、一曲一曲レコードを取り換え、針を落とす作業は手間の掛るものではないが、その効果を知った体験の喜びが黒田さんの活動意欲を支えているようだ。

クロダマハウスでは不要になつたレコードを集めている。古いレコードは、障がい者就労支援施設で特殊洗浄されよみがえり、障がい者の就労支援にも貢献している。聴かれなくなつたレコードが、今また、高齢者に活力を届け、障がい者の活動を支える。自宅の押し入れや物置の奥に不要となつたレコードが眠ってはいないだろうか。(琴葉)

音楽イベント最後の曲は、おなじみ「九ちゃん」こと坂本九さんの「幸せなら手をたたこう」。皆で音楽に乗って手足を動かして、クロダマハウスの活動は施設の高齢者にとっても待ち遠しい人気のイベントなのだ。

※問い合わせ

☎060(6810)1333

クロダマハウス 黒田

☐hayami@topaz.oc.n.ne.jp